

令和 7 年度 西土佐総合保健施設 医師住宅 3 号 新築工事

(機械設備工事)

設 計 図

令和 7 年 8 月

株式会社
プラス 1 設計室



THINKING KONG

特記仕様書 (1)

工事名称 令和7年度西土佐総合保健施設医師住宅3号新築工事
設計年度(設計図) 令和7年度
工事期間(完成図) 令和年月日～令和年月日
工事場所 高知県四万十市西土佐用井

棟名	構造	階数	延床面積(m ²)	用途地域	消防法施行令別表第一の区分
	木造	1 戸数 1	80.15m ²		

I 共通事項

種目	項目	特記仕様	(※及び●印をつけたものを適用する)
一	適用仕様	※特記なき事項は、国土交通省大臣官房官厅營繕部監修「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」(改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 令和4年版)」及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 令和4年版)」による。	
スリープ	機器類	※国土交通省仕様 (例:外壁の地中部等 水密を要する部分はツバ付鋼管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVUスリーブ。柱、梁以外の箇所で、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。)	
機器類	区画貫通処理	※区画貫通処理の必要な箇所については、箇所別に設置場所、設置状況が確認できる記録を写真及び図面等で残す。 ※「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官房官厅營繕部監修) によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所 ・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。	
耐震措置	機器の固定	建物の種別: ○特定の施設 ●一般の施設 地域係数: 1.0 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。 2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とする。	
共通仕様	配管の支持	※基礎のアンカーボルト・吊り基礎ボルト・吊り金物及び防振を施す機器類の取付けボルトは、ロックナット又は2重ナットにて固定する。 注) ナットに対するボルトの余長は3山以上を標準とする。 ※機器の固定に使用する金属系アンカーはスリーブ打込み式または、ウェッジ式とする。(県標準図16) ※ケミカルアンカーは、天井方向に使用しない。 ※防振架台を設置する場合、耐震ストッパーの調整を製造者の指定どおりに行うこと。 ※一般土間コンクリート下部配管は耐震性のある吊りボルト(亜鉛ドブ清又はステンレス製)にてスラブ筋に支持する。 ※屋外及びピット内配管の支持金物・吊り金物は亜鉛ドブ清又はSUS製とする。屋外露出部には既製品支持架台は使用しない。 ※仕様とのおりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振れ止めを適宜設ける。	
ねじ接合材	ねじ接合材使用区分表	流体種別 給水 給湯 冷温水 管材等種別 ステンレス管 ライニング管 水栓金具 弁類 行管入管 ライニング管 弁類 ステンレス管 ライニング管 鋼管 弁類 テープシール材 (イ) (ロ) (ハ) (ハ) ペーストシール剤 (ロ) (ハ) (ロ) (ハ) (ロ) (ハ) (ロ) (ハ) (ロ) (ハ) (ロ) (ハ) (ハ)	
(テープシール材)		※(イ) テープシール材は、JIS K 6885(シール用四つ化エチレン樹脂未焼成テープ(生テープ))によるものとする。 注) 水栓類は、防食シール材を用いない。テープシール材を使用する。	
(ペーストシール剤)		※(ロ) 一般用ペーストシール剤は、管内の流体に溶出せず、使用目的に適する成分のものとする。 ※(ハ) 給水用、給湯用及び冷温水用の防食用ペーストシール剤は、JWWA K 161(水道用ライニング鋼管用液状シール剤)に規定する水道用シール剤とする。 注) 水道用シール剤においてJWWA K 161に適合している主なペーストシール剤は下記による。 ステンレス鋼管等防食の必要がないネジ部には水道用シール剤(ロ) (例:日本ヘルメチックス株式会社のヘルメール403・株式会社ヘルメチックのHERMETIC F-119・山王工業株式会社のヘルメチックNo.A0-9など) ライニング鋼管に使用する防食用ペーストシール剤(ハ) (例:日本ヘルメチックス株式会社のヘルメール55-88-403・株式会社ヘルメチックのHT-Seal F-109・山王工業株式会社のヘルメチックNo.A0-9など)	
サヤ管工法		※サヤ管工法で施工する場合、サヤ管施工後に配管挿入を行うこと。(同時施工を行わない。)	
埋設深さ(管上)		●一般敷300mm以上 ○車両通路600mm以上 ○公道800mm以上 ○公道1,000mm以上 ○公道1,200mm以上。	
埋設管の保護		●埋設管は周囲100mm程度保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。	
建設発生土の処理		○量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ※構外搬出 処理場所()所在地()距離()km その他	
建設副産物		○構内指定場所に敷きし ○構内指定場所に堆積 ※アスファルト、アスファルトルート盤は原則として再生品を使用する。	
コンクリート工事／骨材		※浄化槽・樹木の砂利地業は原則として再生クラッシャーを使用する。(アスファルト再生品混じりは不可)	
はつり・非破壊検査		※本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを使用するものとする。	
総合調整		※はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋・配管類の位置に墨出しを行う。 なお、『コア抜き』はつり工事チェックリストを作成し段階確認を行って施工する。	
技能士の適用		※下記項目の総合調整を行い、測定表を監督職員に提出する。(測定場所等は監督職員の指示による。) ○風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定 ○騒音の測定 ○室内気流及びんいの測定 ○配管施工(配管工事) ○熱絶縁施工(保溫工事) ○建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○冷凍空気調和機器施工 ○その他 完成図 ○ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ※画像データ(PDF形式) ※ A4版黒表紙文字製本1部 ※ 2つ折りA3版製本1部 施工図 ○ CADデータをCD-Rに保存して提出。 ○画像データ(PDF形式) ○ 2つ折り製本(サイズは原図による) 工事管理資料(写し) ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事写真 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工事日誌 ※ フラットファイル等に閉じたもの。 工具類 ○ マンホールフック ○ 水弁ハンドル ○ 掃除ロハンドル ○	
●	対象建築材料等	使用制限	
室内空気汚染対策	① 合板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板 壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上げ塗材	F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。	
	② 塗料	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。	
	③ 木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)	クロルビリホリス、ダイアジノン、フェノカルブルを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加压式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。	
	④ 内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤	1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していないものとする。 2) フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。	
	⑤ 家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台	①、②、③、④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。	
	室内に関わる材料(上記②～④及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)について、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、ステレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘチルヘキシル、クロルビリホリス、ダイアジノン、フェノカルブルの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。		

設計年月日
R07 | 04 | 01

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(080) 31-0246 / FAX(080) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富達也

SCALE
S=1: NS

工事名称 令和7年度西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事設計図
図面名称 特記仕様書(1)

M-01
No. **

配管	① 配管用炭素鋼鋼管 【SGP黒管】(JIS G 3452) ② 配管用炭素鋼鋼管 【SGP白管】(JIS G 3452) ③ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VA】(JWWA K 116-WSP 011) ④ 水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-VD】(JWWA K 116) ⑤ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 【SGP-PA】(JWWA K 132-WSP 039) ⑥ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 【SGP-VS】(WSP 041) ⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 【SGP-HVA】(JWWA K 140) ⑧ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304 TPD】(JIS G 3448) ⑨ 配管用ステンレス鋼鋼管 【SUS 304】(JIS G 3459) · · · 60A以下は抜管式 ⑩ 水道用ダクタイル鋳鉄管 【3種管】(JWWA G 113) ⑪ 鋼管 【M】(JIS H 3300) ⑫ 外面被覆鋼管 【M】(JIS H 3330) 給湯 ⑬ 耐熱性硬質塩化ビニル管 【HTVP】(JIS K 6776) ⑭ 水道用硬質塩化ビニル管 【VWP】(JIS K 6742) ⑮ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管 【HIVP】(JIS K 6742) ⑯ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-VP】(JWWA K 127) ⑰ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 【RR-HIVP】(JWWA K 129) ⑱ 水道用ポリエチレン二層管 (JIS K 6762) ⑲ 水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K 144) ⑳ 架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769)	㉑ ポリブテン管 (JIS K 6778) ㉒ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 【D-VA】(WSP 042) ㉓ 排水用ノンタールエボキシ塗装鋼管 (WSP 032) ㉔ 排水用鋳鉄管 【メカニカル形2種管】(JIS G 5525) ㉕ 鋼管 (HASS 203) ㉖ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VP】(JIS K 6741) ㉗ 硬質ポリ塩化ビニル管 【VU】(JIS K 6741) ㉘ 排水・通気用耐火二層管 【内管VP】 ㉙ 卵形管 ㉚ プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉛ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉜ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉝ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉞ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被覆鋼管 【ガス】(JIS G 3452原管) 白 ㉟ ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774) ㉟ ガス用ステンレス製フレキシブル管 【原管(JIS G 4305)によりガス用に製造されたもの】 ㉟ 断熱材被覆鋼管 【ポリエチレン保溫材】(JCDA 0009) 冷媒 ㉟ 屋外消火栓設備用高性能ポリエチレン管 (日本消防設備安全センターの性能認定取得品) ㉟ 空調用保溫材付ドレン管 【ポリエチレン保溫材 NDD・MDP同等】(内管JIS規格品) ㉟ ブレキスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372) ヒューム管 ㉟ 硬質塩化ビニル被

特記仕様書 (2)

II 工事種目																																																			
●衛生器具設備	取付位置 大便器 化粧鏡 流量調整 洗濯機パン シール(コーリング)	<p>※衛生器具及び周辺機器類の取付位置は総合図・展開図等を作成して、確認後に取付けること。 (特に、便器類と手すり・便器類と操作ボタン類・操作ボタン類と手すり等の位置関係に注意)</p> <p>※和風大便器下面でコンクリートに接する部分はアスファルト塗布(3mm以上)とする。(県標準図1)</p> <p>※和風大便器を防火区画に設置する場合、和風便器用耐火カバーを設ける。</p> <p>※化粧鏡取付にあたっては落下破損防止のため、裏面シール材等による緩衝にて取付などの処置を施す。</p> <p>※小便器・大便器等の手動フラッシュ弁流量調整は、下記の流出時間を目安とする。ただし、衛生器具のマニュアル等に記載があれば内容に準ずること。</p> <p>大便器 小便器 8~10秒 8~10秒 自閉式水栓 7秒</p> <p>※洗濯機パンを設置する床面は、耐荷重性と平滑性に注意する。</p> <p>●器具類と壁・床のシール(コーリング)打ちは右記の表による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">設置場所の床が湿式(防水)</th> <th colspan="2">設置場所の床が乾式(非防水)</th> </tr> <tr> <th>壁</th> <th>床</th> <th>壁</th> <th>床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洋風便器</td> <td>一</td> <td>不</td> <td>一</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗面器類</td> <td>不</td> <td>一</td> <td>要</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td>掃除流し</td> <td>不</td> <td>一</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗濯流し</td> <td>不</td> <td>一</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>洗濯パン</td> <td>一</td> <td>不</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>ステンレス流し台</td> <td>要</td> <td>不</td> <td>要</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>化粧棚</td> <td>不</td> <td>一</td> <td>要</td> <td>一</td> </tr> <tr> <td colspan="2">壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。</td><td colspan="2"></td><td></td></tr> </tbody> </table>	機器種別	設置場所の床が湿式(防水)		設置場所の床が乾式(非防水)		壁	床	壁	床	洋風便器	一	不	一	不	洗面器類	不	一	要	一	掃除流し	不	一	要	不	洗濯流し	不	一	要	不	洗濯パン	一	不	要	不	ステンレス流し台	要	不	要	不	化粧棚	不	一	要	一	壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。				
機器種別	設置場所の床が湿式(防水)			設置場所の床が乾式(非防水)																																															
	壁	床	壁	床																																															
洋風便器	一	不	一	不																																															
洗面器類	不	一	要	一																																															
掃除流し	不	一	要	不																																															
洗濯流し	不	一	要	不																																															
洗濯パン	一	不	要	不																																															
ステンレス流し台	要	不	要	不																																															
化粧棚	不	一	要	一																																															
壁・床の仕様にかかわらず、自動水栓装置・コンセント・非常呼出しなど電気機器類に水かかりが好ましくない場合はシール打ちを施す。																																																			
●給水設備	負担金 弁 継手類 バルブボックス 隠蔽部の保温 既設給水钢管への接続 水槽類の施工手順 水槽類の衛生管理 引渡前の水質の管理	<p>●不要 ○要()</p> <p>※直圧給水弁は水道事業者の指定品(指定のない場合は、二次側給水に準じた弁)</p> <p>※二次側給水弁(土中): 40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング)</p> <p>※二次側給水弁(一般): 40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鋳鉄製F付き内面ライニング弁5K</p> <p>※水栓エルボ・水栓ソケットは器具側保全ねじ形とする。</p> <p>※ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をする。</p> <p>※ビニル管とライニング钢管の接続には水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。</p> <p>※T.S.バルブソケットは金属製(砲金・おすねジ)で打込しているものを使用する。</p> <p>※水道事業者の指定がない場合の埋設弁のボックスは、県標準図5・6による。</p> <p>※給水管の細部保温は特記なき場合は下記の通りとする。壁中等で仕様書通りの施工が困難な場合は監督職員の指示により保温を施す。</p> <p>空間の有る壁中配管 → 要 流し下の空間配管 → 要</p> <p>※改修工事等で钢管類(ライニング钢管)を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、钢管類の切断部の防錆処理として、JWWA K 135規格適合品(エポキシ系DEVCON SF等バイプライニング用)にて処理する。ただし、コア一体型管端防食タイプソケットRC-LA型剥りケンを使用する場合は処理不要とする。)</p> <p>※水位設定の協議後に、水位高さ入り施工図を作成し発注・施工を行う。なお、県標準図4を参考とし水位高さを協議する。</p> <p>※受水槽・高架水槽を新設(改修等含む)施工する場合は、清掃・消毒等後に水張りを行う。</p> <p>○残留塩素濃度の測定を行う。(端末において0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う。)</p> <p>○建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく水質検査(11項目)について行うこと。採水場所は指定箇所で()ヶ所とする。</p>																																																	
●排水設備	保護砂利 樹脂製排水樹 衛生器具等の接続 排水管の防露 排水管の試験等 その他の	<p>●第1階以降の屋外ビニル管部分には、保護砂(180度台)を要す。</p> <p>○遠心力筋鉄コンクリート管部分には砂利台を要す。</p> <p>※防護蓋を設置する場合は県標準図7による。</p> <p>●洗面器等の排水金具と専用の排水アダプタでビニル管に接続できない場合、VCバッキンを使用する。</p> <p>※既製流しの排水金具に使用しているジャバラホースはそのまま使用せず、VP配管直結(VCバッキンでも可)とする。県標準図5による。</p> <p>○雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。(但し平屋建は不要とする。)</p> <p>※空間のある壁中配管・集合住宅等のスラブ上配管・受水槽他水槽からドレンバルブまで→必要 流し台下空間配管・実験台等への立ち上がり露出配管→不要</p> <p>○満水試験 ●通水試験 ○鏡確認</p> <p>※洗濯機排水金物の床貫通部等は共住区画に適合する処理を施す。</p>																																																	
○消防設備	消火栓箱	<p>○消火栓箱は(○県標準図12 ○国土交通省仕様 ○メーカー仕様)</p> <p>○共住区画の消防検査受検必要</p>																																																	
●給湯設備	弁 絶縁対策 給湯管の保溫 大気汚染対策	<p>●40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K</p> <p>※钢管及びステンレス配管は支持金具との絶縁処理を行う。</p> <p>※鋼板製ボイラー及び钢管との接続等、異種管との接続には絶縁継手を使用する。</p> <p>※給湯配管に簡易保温筒(クイックチューブ)を使用する場合は耐熱性のものを使用する。</p> <p>※被覆钢管の継手カバーは保温付きのものを使用する。</p> <p>※給湯器の配管化粧カバー内は凍結破損防止を考慮した保温(簡易保温筒)施工を行う。</p> <p>○排ガス監視装置を要す。</p> <p>○ばい煙濃度測定口を要す。</p>																																																	
○ガス設備	ガス集合装置 給湯器用止水弁 その他の	<p>※ガス集合装置は県標準図9・10・11を参照し、漏洩検知装置・耐震遮断装置・転倒防止金具等の必要有無に注意する。</p> <p>※スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用する。</p> <p>※ガス用フレキ管とガスコック等(ヒューズコック)との接続は、コック等の固定が出来る部材等を使用して接続する。</p> <p>※ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。</p> <p>※ポンベ支持クリア用のアンカーボルトは、10mm以上のもので、下記のいずれかとする。</p> <p>※埋込アンカー・雄ネジ形メカニカルアンカー・接着系アンカー(ケミカルアンカー)なお、チーン、フックも同様の強度を持つものとする。</p> <p>※自記録計によるガス圧テスト表の写しを県に提出し、正本は施工業者で5年間保存する。</p>																																																	
○浄化槽設備	種汚泥試運転調整 その他の	<p>※使用開始時には必要に応じて種汚泥を投入する。</p> <p>※浄化槽の使用開始後おおむね3ヶ月間の試運転調整を行うもので、浄化槽法による「保守点検及び清掃等」を行うほか下記の事項を言う。</p> <p>1.維持管理を管理業者に引継ぐ場合は直前に水質検査(BOD、SS、PH、大腸菌、塩素イオン)を行い、そのコピーを維持管理業者、施設管理者、工事監督者に渡し、設計・施工・現況の注意事項を申し送ること。</p> <p>※見やすい場所に型式、施工者名、設置年月、処理能力、放流水質を記入した銘板を設置する。</p> <p>※コンクリート頂版スラブを施工する場合、モルタルの浮き上がり、及び、水たまりが出来ないように仕上げ勾配に注意する。</p> <p>○補助金申請設備</p>																																																	

●空調機器の仕様 空気調和・換気設備	<p>※グリーン購入法(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成十二年法律第百号))の判断基準適合品とする。</p> <p>○屋外機はJRA耐重害仕様とする。 ○屋外機は耐塩害仕様とする。</p> <p>※パッケージエアコン屋内機の施工については県標準図13を参考にして注意する。</p> <p>○天セセ室内機の取付等による天井の開口及び補強・補修を行う。(建築工事標準詳細図参照)</p> <p>1) 補強野線は野線と、補強野線受及び取付け用補強材は野線受と同材とする。 2) 野線受のはね出しが300mm以上の場合は、増し吊りを設ける。</p> <p>※室外機には設置場所を問わず、溶接垂鉛メッキまたはSUS製の転倒防止金具もしくは転倒防止ワイヤーを設ける。</p> <p>○不要 ○要()ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。</p> <p>※配管ラッピング(溶融アルミニウム-垂鉛板・配管化粧カバー)は室外機の直近まで施す。</p> <p>(フリーコーナー(ジャバラ)は使用しない。)</p> <p>●アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ●スパイラルダクト ●VUダクト</p> <p>※内貼りチャンバの寸法表示は、外法寸法とすること。サプライチャンバにはその上に銅引き甲金網押さえを行なう。</p> <p>※消音材はグラスウール(吹出口チャンバー・吸込口チャンバー・レターンチャンバーは25mm厚、サプライチャンバーは50mm厚)とし、ガラスクロス押さえとする。</p> <p>※排気フードは、SUS430製とする。(1.0mm厚)</p> <p>※フィルターは分解掃除が出来るものにする。</p> <p>※黄銅製コックは20mmのものとする。(キャップ止でもよい)</p> <p>※火器使用機器が確定後にフードの形状寸法を変更して、投影面積が変わった場合はフードの面風速もチェックする。</p> <p>(参考: フードの面風速は一般的に0.3m/sとして設計している。)</p> <p>※送風機の機器表に番号(#)を明記している場合、小さい番号にしない。</p> <p>※エアコン設置に必要な一次電源送り以降の、室内外渡り電源線、制御線、アース(CE2sq/4C・CE3.5sq/4C程度)を要す。</p> <p>※()線はEM-AE0.9mm/20~30、又はVCF0.75sq/20~30とする。(但し延長が10m以下の()線は機器付属品でもよい。)</p> <p>※室内外の渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同保温外套内に納める。(電源・制御配線の最低離隔距離は機器メーカーの基準に準ずる。)</p> <p>※表示窓の付いたリモコンの取付場所は視認性の良い高さ(1,300~1500h)照明SWの上を標準とするが、総合図で充分打合せ調整を行う。</p> <p>※防振ハンガーの設置判断基準は県標準図14による。</p> <p>※震災後の設備機能確保を図る実務的設備耐震対策措置は県標準図15による。</p> <p>※冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。</p> <p>○排ガス監視装置を要す。 ○ばい煙濃度測定口を要す。</p>
○別途工事	<p>○スリーブ、箱入れの補強筋 ○ガラリ ○点検口 ○天井および壁貫通に対する下地補強 ○プロパンボンベ庫 ○ ○ ○</p>

III 材料メーカー表	
材料	材料メーカー
衛生陶器	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業
水栓金具類	TOTO、LIXIL(INAX)、ジャニス工業、三栄水栓
F R P 水槽	三菱、日立、積水
うず巻ポンプ	荏原、日立、荏原、川本
水中モーターポンプ	荏原、日立、荏原、川本、鶴見
汚水・汚物ポンプ	荏原、日立、荏原、川本、鶴見、新明和
電気温水器	四変テック、ユバック、日本電熱、東芝、パナソニック、三菱、日立
厨房機器	日本調理、フジマック、北沢、ホシザキ四国、タニコー、マルゼン
小型鋼板ボイラー	巴、昭和、愛知、ネポン、ヒラカワ
F R P 膨張タンク	日立成、三菱樹脂、ホーコス
ルームエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
パッケージエアコン	ダイキン、三菱、日立、パナソニック、東芝キャリア
冷温水発生機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工、パナソニック
エアハンドリングユニット	新晃、ダイキン、三菱、昭和、日立、木村、東芝キャリア、三菱重工
送風機	日立、テラル、荏原、パナソニック、谷山、ミヅヤ、旭電業
冷却塔	矢崎、日立、荏原、シワ、空研、日本スピンドル
自動制御機器	アズビル、ジョンソンコントロールズ
ロールフィルター	日本スピンドル、東洋空気調和、日本エアフィルタ
全熱交換機換気扇	三菱、パナソニック、テラル、東芝、日立、ダイキン
その他	国土交通省仕様適合品

完成後必要な取扱資格者	ボイラー	○資格不要 ○特別教育修了者(小型ボイラ) ○講習修了者 ○()級ボイラ技士
危険物	○資格不要 ○危険物取扱主任者	
冷凍機	○資格不要 ○第()種冷凍機械作業主任者	

官公庁等	打合せ事項	確認日
給水		令和 年 月 日
排水		令和 年 月 日
排水		令和 年 月 日
浄化槽		令和 年 月 日
ガス		令和 年 月 日
その他		令和 年 月 日

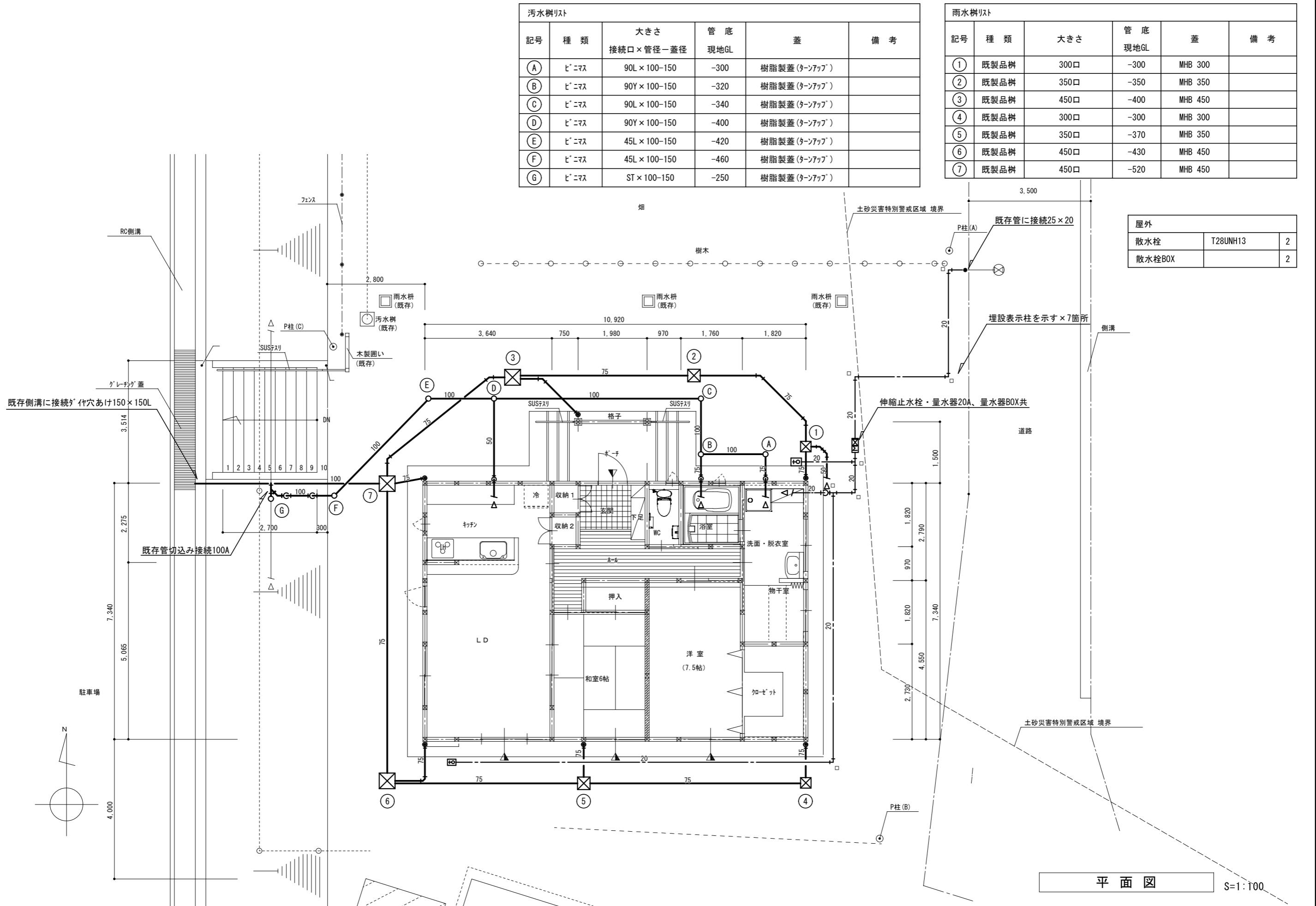
設計年月日
R07 | 04 | 01

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古賀津 2939-8
TEL(080) 31-0246 / FAX(080) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富 達也

SCALE
S=1: NS
THINKING KONG

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事設計図
面図名称
特記仕様書 (2)



設計年月日
R07 | 04 | 01
※建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
※給湯設備(満水時15kgを超えるもの)が、H24告示1447号に適合している事。

株式会社
プラス1設計室

高知県四万十市古津賀 2939-8
TEL(0880) 31-0246 / FAX(0880) 31-0247
事務所登録 第1324号
1級建築士 第196860号 永富達也 THINKING KONG



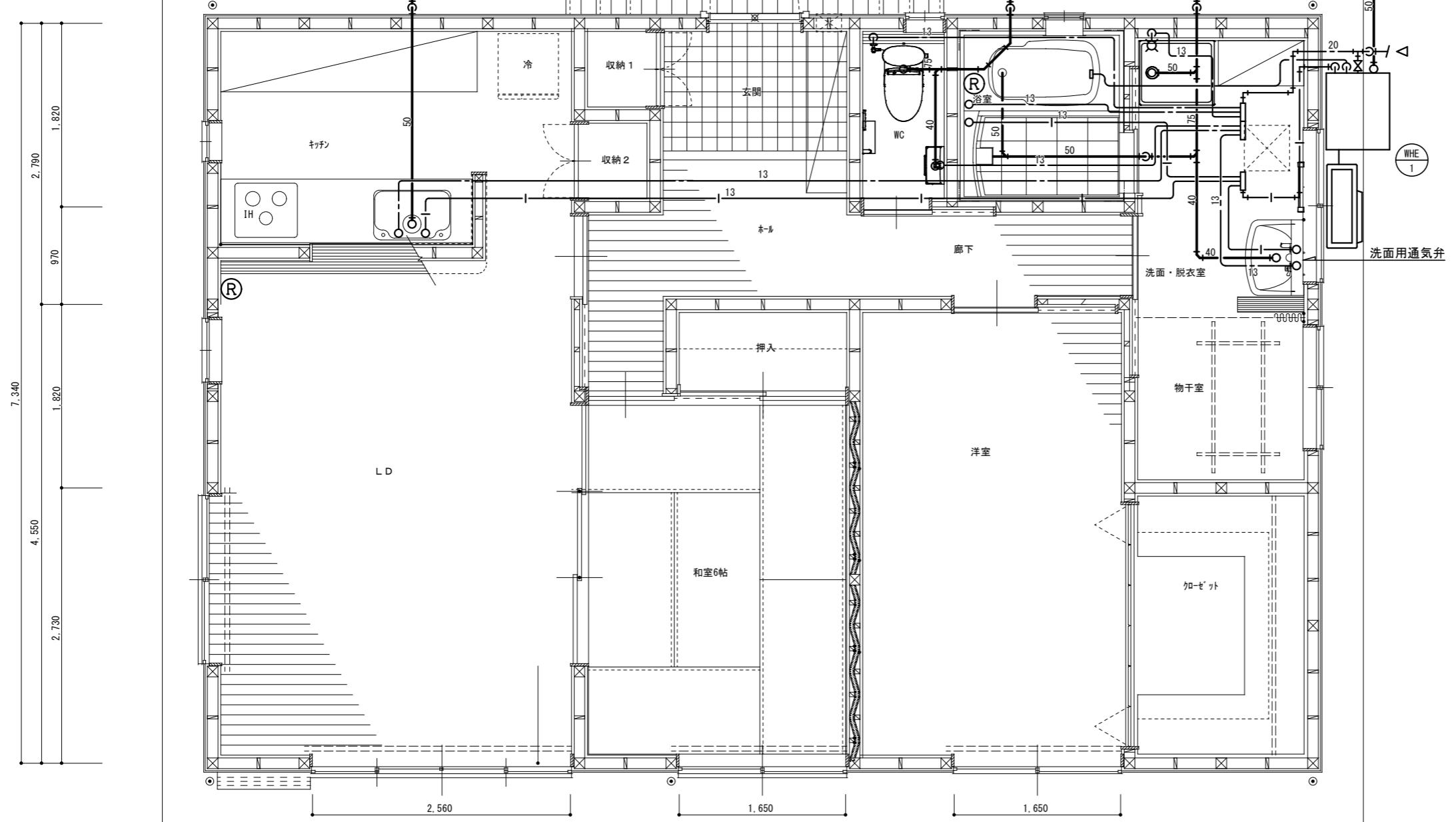
SCALE
S=1:100

工事名称
令和7年度 西土佐総合保健施設 医師住宅3号 新築工事設計図
図面名称
平面図

M-03
No. **

衛生器具リスト（品番は参考とし、同等品以上とする）			
洋風便器（ロータンク）	CS400BP	SH400BA	1
温水洗净便座 リモコン便器洗浄		TCF6543AK	
キャビネットタイプ・手洗器	ULRB1RTBN2NNN1BN		1
ハンドル式水栓 タイプ掛け付 床給水・床排水			
洗面化粧台（建築工事）			(1)
手すり（棚付二連紙巻器付）	YHBS600F		1
洗濯機ハンドル	PWSP74H2W		1
洗濯機用水栓	TW11R		1
タイル掛け	YT500S4		1
ストレート止水栓 (洗面化粧台・キッチン流し用)			4

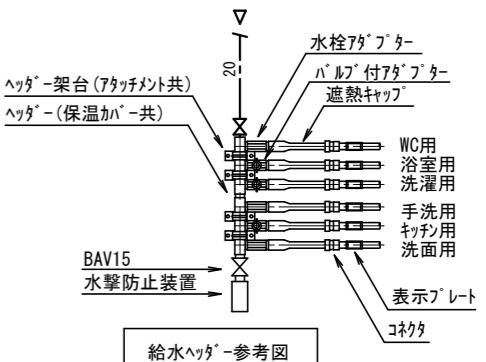
WHE-1 エコキュート電気温水器（水道直結型）
屋外設置型370L フリード追い焚き 転倒防止仕様 1φ 200V
中間期標準加熱能力/消費電力：4.5kW/1.04kW、冬期高温加熱能力/消費電力：4.5kW/1.50kW
メインリモコン・サブリモコン リモコンコード（15m・5m）ヒートポンプ・貯湯タンク専用配管
給水：逆止弁付BAV20A、SUS製フタ20A×300L、減圧弁20A 給湯：SUS製フタ20A×300L
標準付属品一式 基礎建築工事



平面詳細図

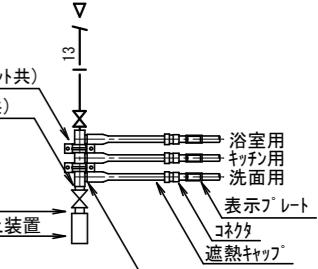
S=1:50

設計年月日	※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
R07 04 01	※ 給湯設備（満水時15kgを超えるもの）が、H24告示1447号に適合している事。



ヘッダーパーツ（給水）

名 称	仕 様	個 数
連鉄ヘッダ-	3栓用	2
ヘッダーパーツ	防食仕様	4
アタッチメント	防食仕様	4
連鉄ヘッダーパーツ	3栓用	2
水栓アダプター	13A	4
バルブ付アダプター	13A	2
表示プレート		7
遮熱キャップ	13A (コネクタ共)	6
BAV	15A	1
BAV	20A	1
水撃防止装置	15A	1



ヘッダーパーツ（給湯）

名 称	仕 様	個 数
連鉄ヘッダ-	3栓用	1
ヘッダーパーツ	防食仕様	2
アタッチメント	防食仕様	2
連鉄ヘッダーパーツ	3栓用	1
水栓アダプター	13A	3
表示プレート		4
遮熱キャップ	13A (コネクタ共)	3
BAV	15A	1
水撃防止装置	15A	1

給湯ヘッダーパーツ

管部材

名 称	箇 所	個 数
水栓ジョイントボックス	給水：浴室・洗濯・WC	3
水栓バルブ共	給湯：浴室	1
立型水栓ジョイント	給水：洗面化粧台・キッチン・手洗	3
水栓継手共	給湯：洗面化粧台・キッチン	2

空調機器リスト

エアコンの消費電力値は近似値で可とする

記号	機器名称	機器仕様	電源		定格消費電力kW	台	備考
			相	電圧			
			φ	V			
ACR-1	ルームエアコン	壁掛形 ケーリン購入法適合品 冷房能力：定格2.2kw 暖房能力：定格2.5kw 冷媒配管6.35×9.52 ドレン管20A ワイヤレスリモコン フ'ラック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)	1	100	冷房 0.43 暖房 0.47	2	和室・物干
ACR-2	ルームエアコン	壁掛形 ケーリン購入法適合品 冷房能力：定格2.5kw 暖房能力：定格2.8kw 冷媒配管6.35×9.52 ドレン管20A ワイヤレスリモコン フ'ラック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)	1	100	冷房 0.50 暖房 0.53	1	洋室
ACR-3	ルームエアコン	壁掛形 ケーリン購入法適合品 冷房能力：定格4.0kw 暖房能力：定格5.0kw 冷媒配管6.35×9.52 ドレン管20A ワイヤレスリモコン フ'ラック 転倒防止金物(SUS又は溶融亜鉛メッキ)	1	200	冷房 0.96 暖房 0.99	1	LD

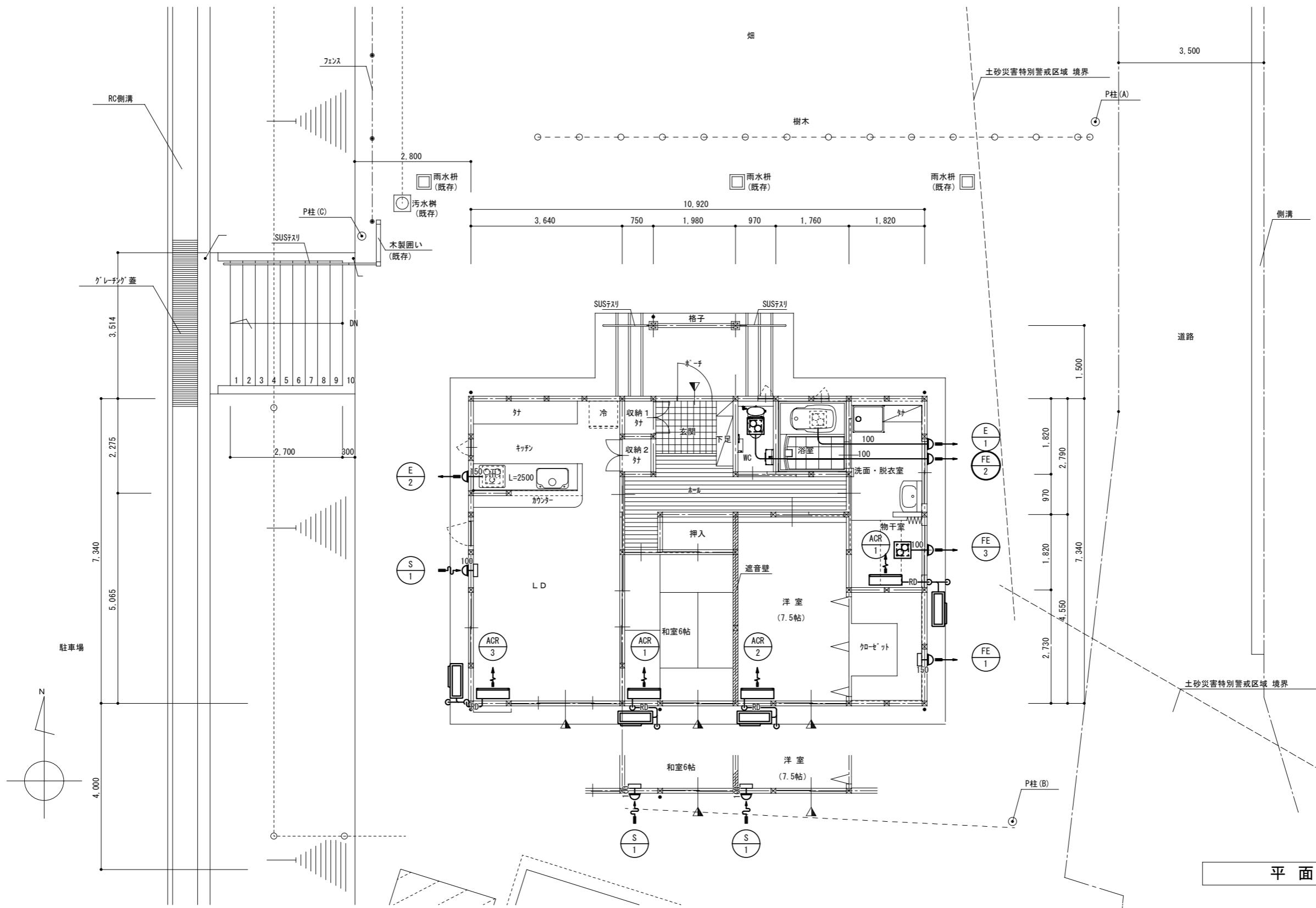
換気機器リスト

風量は表示値以上、消費電力値は近似値で可とする

記号	機器名称	機器仕様	電源		消費電力W	台	備考
			相	電圧			
			φ	V			
FE-1	ハ"イ"用ファン	風量80m3/h 静圧5Pa時 角形格子ケ'リル タ'外径150φ フ'ラック付電源コード 電気式シャッター SUS製ガ'リ付深形フ'ート 150φ	1	100	6.5	1	クロセ'ット
FE-2	天井換気扇 DCモーター (24時間換気)	風量75m3/h(強) 静圧15Pa時 プ'ラスチックタイ' タ'外径100φ 天吊金具 SUS製ガ'リ付深形フ'ート 100φ 24HRコントロールスイッチ(入切タイ')	1	100	2.5	1	WC
FE-3	天井換気扇 DCモーター	風量80m3/h(強) 静圧10Pa時 プ'ラスチックタイ' タ'外径100φ 天吊金具 SUS製ガ'リ付深形フ'ート 100φ	1	100	2.5	1	物干
E-1	ヘ'ント'キャップ	SUS製ガ'リ付深形フ'ート 100φ UB換気扇は建築工事				1	浴室
E-2	ヘ'ント'キャップ	SUS製ガ'リ付深形フ'ート 150φ レンジ'フ'ード'ファンは建築工事				1	キッチン
S-1	給気ケ'リル	樹脂製 フィルタ付風量調節全閉可能タイ' タ'外径100φ SUS製ガ'リ付深形フ'ート 100φ				3	LD、和室、洋室

24時間換気計算(換気扇は計算による必要排気量以上を確保する事)									
室名	床面積 m ²	平均天 井高m	容積 m3	換氣 種別	必要 換氣 回数	必要排氣量 m3/h	実排氣量 m3/h	実質 換氣 回数	適用 換気扇
LDK	26.72	2.40	64.13						
和室	9.94	2.40	23.86						
洋室	12.42	2.40	29.81						
WC	1.77	2.30	4.07						
ホール	7.14	2.30	16.42						
玄関	2.59	2.42	6.27						
計			144.56	三種	0.5	72.28	75	0.51	FE-2

設計年月日
R07 04 01



平面図

S=1:100

設計年月日	※ 建築設備の構造強度について、政令第129条の2の4に適合している事。
R07 04 01	